ONKYO

スピーカーシステム

D-55EX

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお読みください） 2
主な特長 4
各部の名前 5
接続のしかた 6
使いかた 7
取り扱いについて 8
主な仕様 9
修理について 10
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 11

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意　感電注意

⃠記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止　ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにアンプの電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■長期間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に物を置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
また、本機に乗ったりぶら下がったりしないでください。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

■ 音量に注意する

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■ 移動時は接続コードをはずす

必ずする

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

主な特長

ウーファーユニット

■ N-OMFコーン、砲弾型イコライザー採用ウーファーを搭載

「より硬く、軽く、固有音の少ない」点に着目し改良。不織布のコットンを3層重ね、アラミド繊維をハイブリッドした「N-OMF」振動板を採用。滑らかさやスピード感を引き出す砲弾型イコライザーを装備。

ツイーターユニット

■ 3cmリング型ツイーター

音抜けのよい、分割振動を抑えたリングツイーターを採用。100kHzまでの超高域再生を実現しました。

その他

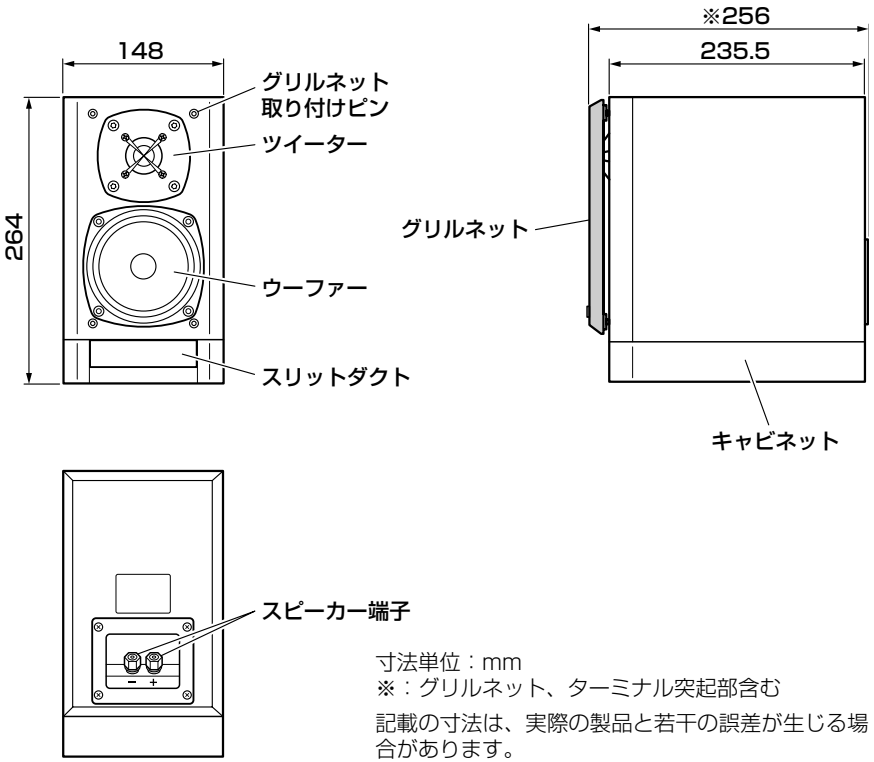
■アドバンスド AERO（エアロ） ACOUSTIC（アコースティック） DRIVE（ドライブ）

空気の圧力を高めてハイスピードな超低音を一気に放出する独自のスリット形状バスレフダクトを、キャビネットとベース板の結合部に独立して配置した構造を採用。キャビネット内部のノイズ放射を大幅に低減しつつ、不要な共振を制御しています。

■バナナプラグ対応ネジ式スピーカーターミナル

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

各部の名前



寸法単位：mm
※：グリルネット、ターミナル突起部含む

記載の寸法は、実際の製品と若干の誤差が生じる場合があります。

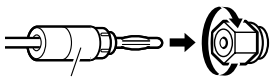
接続のしかた

D-55EXは左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側／右側で使用しても音質は変わりません。

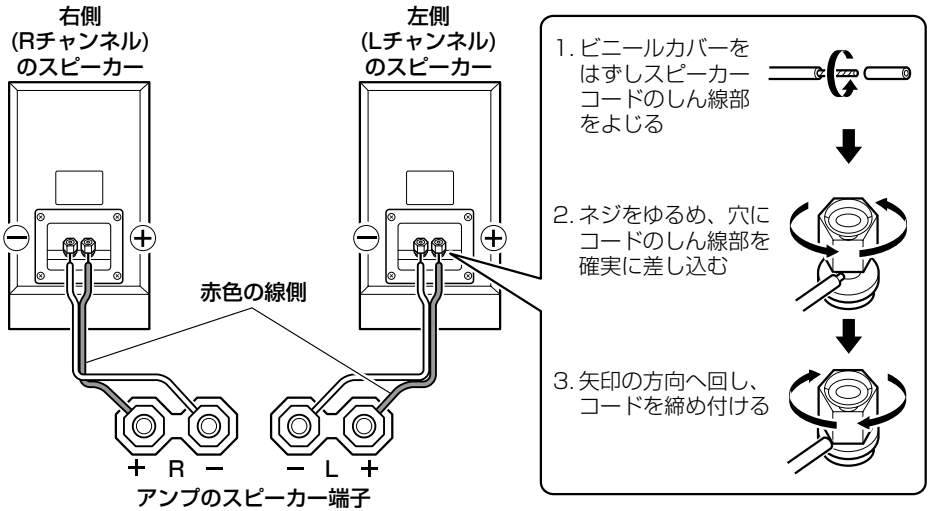
- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは6Ωです。接続するアンプは6Ωに対応したものをご使用ください。
- 右側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のR（右）に、左側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のL（左）に接続してください。
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続すると、音が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカーコードのしん線はよくよじり、確実にスピーカー端子に接続してください。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

！ヒント

本機のスピーカー端子は、市販のバナナプラグを使用することができます。その場合は、スピーカー端子のねじを締めてからプラグを差し込んでください。



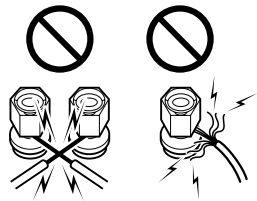
バナナプラグ



- スピーカーのプラス⊕とアンプのプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖とアンプのマイナス⊖を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線がある方をプラス⊕側に接続してください。
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続すると、音が不自然になりますのでご注意ください。

危険

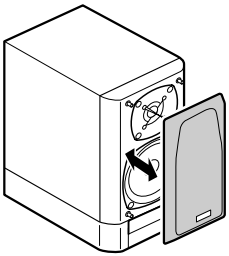
- **回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラス⊕とマイナス⊖あるいはLとRなどを絶対に接触させないでください。また、アンプのリアパネルにも触れないように、ご注意ください。**
- **スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がアンプのリアパネルに触れると、ショートする原因となります。**

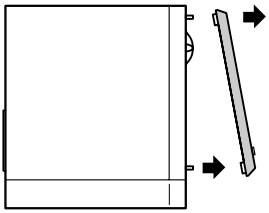


■ グリルネットの脱着

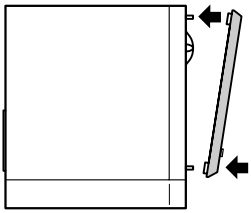
本機は前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. グリルネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、グリルネットの下側をはずします。
2. 同じようにグリルネットの上側を手前に引っ張ると、グリルネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、本体のグリルネット取り付けピンにグリルネットの四隅にあるホルダーを合わせて押し込みます。





取りはずし



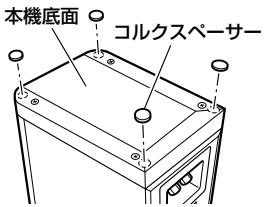
取り付け

■ 付属のコルクスペーサーを使う

安定した設置と、より良い音でお楽しみいただくため、また可塑剤の移行*を防止するためにも、付属のコルクスペーサーを必ずお使いください。

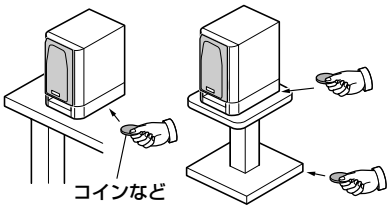
コルクスペーサーは、図のように本機底面の四隅に貼り付けてください。

*「可塑剤の移行」については、8ページの「設置する際のご注意」をご覧ください。



■ スピーカーシステムの設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。



- スピーカーシステムを床に直接置きますと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
  このとき、スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーシステムとスピーカースタンドとの間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、付属のコルクスペーサーまたはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。棚のようにスピーカーシステムと接触する面積が広いときは、間に付属のコルクスペーサーやコイン等をはさんで面接触から点接触に変える方が一般に良い結果が得られます。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 一般に、部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、ステレオ再生の場合、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

取り扱いについて

■ 設置する際のご注意

本機を設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。本機の表面を被っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤が本機の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。

滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。本機に接触することで色が移ったり、本機の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

*可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ、PVCと言われることもあります。）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。

- 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■ テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は防磁設計ではありません。ブラウン管テレビを本機の近くでご使用になると、色むらやひずみが生じる場合があります。そのときは、本機をテレビから離してください。

ご注意

- テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。
- 本機のスピーカーユニットには、非常に強力な磁石を使用しております。スピーカー前面にドライバー等の金属を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。また、キャッシュカード、フロッピーディスク等の磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

主な仕様

形式	：2ウェイ バスレフ型
定格インピーダンス	：6Ω
最大入力	：80W
定格感度レベル	：83.5dB/W/m
定格周波数範囲	：60Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	：2.5kHz
キャビネット内容積	：5.5リットル
外形寸法（幅×高さ×奥行）	：148×264×256mm（グリルネット、ターミナル突起部含む）
質量	：3.6kg
使用スピーカー	：ウーファー：10cm　N-OMFコーン型×1 ツイーター：3cm　リング型×1
ターミナル	：バナナプラグ対応ネジ式スピーカーターミナル
防磁設計	：無し
付属品（　）内の数字は数量を表しています。	：スピーカーコード 1.8m（2） コルクスペーサー（8） 取扱説明書（本書）（1） 保証書（1） ユーザー登録カード（1）
その他	：グリルネット脱着可 2個1梱包（LR区別無し）

※仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または11ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 D-55EX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は11ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

※販売店の長期保証制度にご加入いただいた製品の保証期間内の修理は、お買い求めの販売店へご依頼いただくようお願いします。

■「送付」による修理をご希望の場合は

下記のオーディオリペアセンターへご送付ください。

〒682-0925　鳥取県倉吉市秋喜243番地
オンキヨー　鳥取オーディオリペアセンター　修理受付窓口宛　　050-3161-9555
（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■「出張修理」をご希望の場合、その他ご不明な点は

下記のオンキヨー オーディオコールセンターへご相談ください。

オーディオコールセンター　050-3161-9555（IP電話）
（受付時間：10:00～18:00　土・日・祝日及び弊社で定める休業日を除きます）

※出張修理の際は、修理費用以外に出張費用が別途かかります。また、地域によっては、出張修理のできないエリアがございます。あらかじめご了承ください。

2012年1月現在　　住所、電話番号、受付時間などは変更になることがございます。

ONKYO

オンキヨー株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G1206-1

SN 29401292

(C) Copyright 2012 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

29401292